

なかつぼ

## 中坪遺跡(第3次) その4 (最終回)

7月から始まった、中坪遺跡の発掘調査も立田町の方々をはじめ、多くの方々のご理解・ご協力のおかげをもちまして、無事終了することができました。ありがとうございました。最終回となる今回は、これまでに出土した遺物の一部と今後の整理作業の様子について紹介します。

### じんめんぼくしょどき 人面墨書土器



中世の溝から出土した、人面墨書土器（人の顔が描かれた土師器）の皿です。

皿の外側に、大きな目、眉、鼻が描かれているのが分かります。

祭祀に用いたものか、落書のようなものではないかと思われまます。

### 石が詰められた鍋



鎌倉時代の井戸から出土した土師器の鍋です。鍋の底は意図的に割られ、上下逆さの状態で見つけていました。また、鍋の中には、こぶし大の石が詰め込まれていました。

使わなくなった井戸を埋めるときに、据え置かれたもので、井戸の神様へ捧げられたものかもしれません。

他にも、まだまだ遺物はありますが、これから順次整理作業を進めてまいります。

## 整理作業の様子・・・

①遺跡から持ち帰った遺物を、丁寧に洗います。



②水気がなくなるまで、よく乾かします。



③いつ・どこから出土したのか、一つずつ遺物に書き記します。



④バラバラの破片をパズルのようにくっつけていきます。



この後は・・・

調査の報告書の作成のために、写真撮影や実測図の作成を行います。

<問い合わせ先> 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503  
三重県埋蔵文化財センター調査研究1課  
担当者：鐸木、水谷、中川、森  
電話：0596-52-7028 FAX：0596-52-7035  
E-mail：maibun@pref.mie.jp